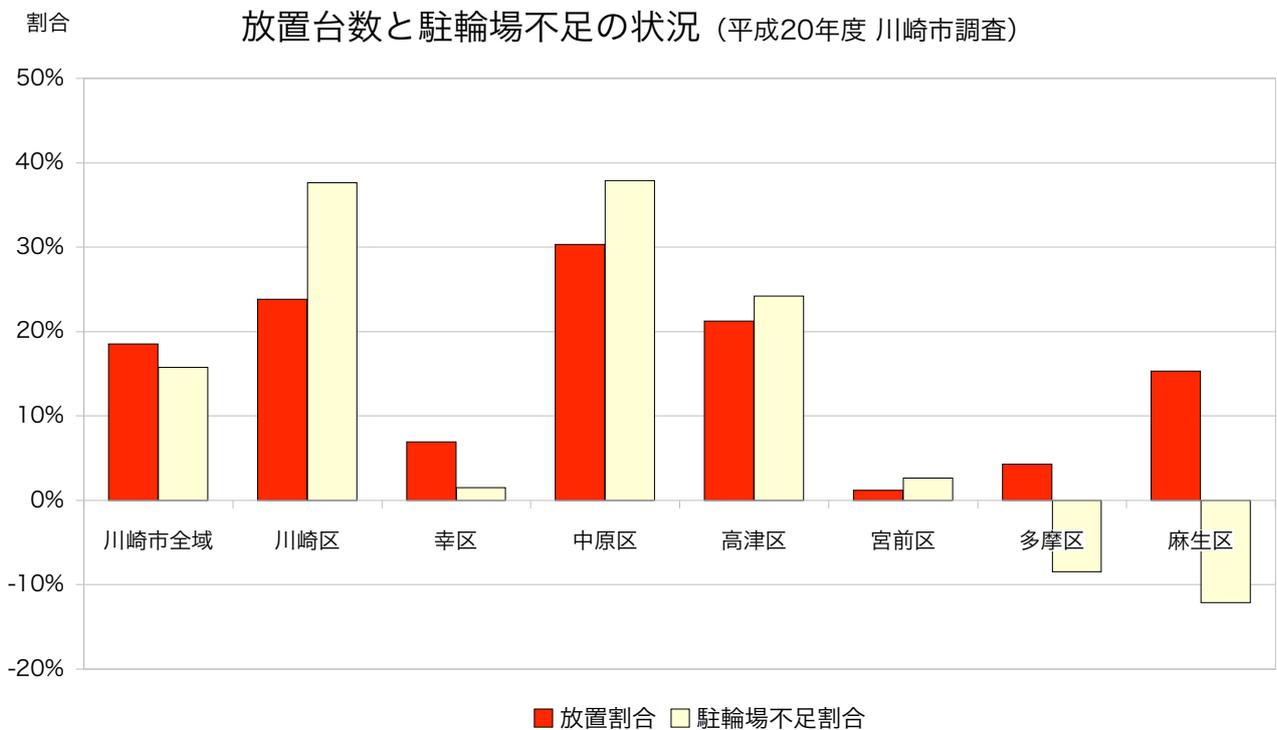


駐輪場の利用台数および放置台数（平成20年度調査）

	川崎市全域	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
収容台数	63,231	10,570	8,124	13,983	9,058	3,622	12,040	5,834
利用台数	59,613	11,078	7,672	13,438	8,857	3,673	10,552	4,343
利用率 %	94	105	94	96	98	101	88	74
放置台数	13,580	3,471	572	5,845	2,392	45	471	784
全体台数	73,193	14,549	8,244	19,283	11,249	3,718	11,023	5,127
放置割合	18.55%	23.86%	6.94%	30.31%	21.26%	1.21%	4.27%	15.29%
駐輪場不足割合	15.75%	37.64%	1.48%	37.90%	24.19%	2.65%	-8.45%	-12.12%

出典：平成20年度川崎市調査より算出



- 川崎区、中原区、高津区は、需要に対し供給が圧倒的に不足していることが、放置の一因になっていると考えられる。もちろん供給を増やすことも必要だし、通勤・通学用（長時間）と買い物客用（短時間）といった需要毎の取り組み（例：商店街に買い物客など短時間利用者専用の無料駐輪場を集中的に整備する）、運用の改善（例：短時間利用者専用の駐輪場は時間増の料金にして回転を早める）、需要管理をする（例：貸し自転車を導入し共有化をすすめる）などの取り組みも必要になりそうだ。
- 幸区、多摩区、麻生区では、駐輪場利用促進策が必要。特に麻生区と多摩区については既存駐輪場が需要に当たっていないことも考えられる（たとえば通勤通学用は過剰だが買い物客など短時間用は不足しているなど）ことから、政策の見直しが必要になりそうだ。

